

(はじまりを歩く)農業体験農園 東京都練馬区、 国立市 プロの指南で初心者も安心

はじまりを歩く 2024年5月11日 3時30分

都市の農地をさらに多目的に使っている取り組みがあると聞き、東京都国立市に向かった。

コミュニティー農園「くにたちはたけんぼ」。約2600平方メートルに貸農園や体験水田、多目的スペースなどがある。稲作体験や染め物、畑で育てた小麦でのピザ作りといった催しのほか、放課後クラブ、子どもの自然遊び、フリースペースなど子育て支援の場になっている。

運営するNPO法人「くにたち農園の会」の理事長、小野淳さん(49)は、より多くの人がこの空間に関われるよう地域に開き、色々な人のアイデアを受け入れいった結果、使い方が広がっていったと話す。

小野さんは、農的空間には価値が六つあると考える。第一は食の供給。人とのつながりを生み出すコミュニティー的価値。そして学びの機能と癒やし、遊びの価値。最後が自然に触れて感じる美しさ。「六つの価値の最大化を僕は意識しています」

食べるだけでなく、土を触って耕し、味わえる農の魅力は幅広く深い。畑を開き、周りの人々を迎え入れることで、それは共有され、広がっていく。

(文・大村美香 写真・吉崎良太)